

燃料使用量管理手順書

文書番号

PN003

1. 目的

この手順書は、燃料使用量の管理に努めるための実施手順を定める。

2. 燃料使用量の管理

- 1) 部門内責任者は、燃料使用量の管理の目的・目標を、従業員に周知させる確な履行を促す。
- 2) 部門内責任者は、燃料使用量の管理を的確に行うための担当者を指名する。指名されたものは、活動並びに記録の管理責任をもつ。
- 3) 部門内責任者は、日常の管理において不具合な面があれば、従業員に適切な指示とその履行を促す。
- 4) EMS事務局は、毎月の燃料使用量を確認するとともに、全体環境マネジメントプログラム/実績管理表(燃料)に記録し、環境管理責任者に報告する。
- 5) 環境管理責任者は、燃料使用量の管理状況がプログラムに適合しないか、しなくなることが予測される場合、環境推進委員会にて部門内責任者に、原因の調査を依頼し、原因を特定し、是正及び予防処置に着手し逸脱を防止する。

3. 具体的な方法

車輛の燃料使用量の管理

アイドリングストップを励行し、記録用紙(様式『燃 2』)に実績を記録する。

タイヤの空気圧を適性に保ち、急発進、急停車、空ぶかしをしない。作業時最低必要以外の物を常時搭載して移動しない。(不用不急な物品類、雑多で同種類の工具類、以前の作業等で使い残した材料等)

「作業日報」に定める点検を確実にを行い、記録する。

関連文書等

作業日報

記録用紙(様式『燃 2』)

制定・改訂履歴表

改訂版番号	改訂理由と主な改定内容	改訂年月日	事務局印	承認者印
第1版	初版	H.11.11.15		許田
第2版	環境推進委員会による全面見直し	H.12. 1.15		許田
第3版	環境管理責任者による見直し	H.12. 4.14		許田
第4版	環境推進委員会による全面見直し	H.17. 4.11		許田
第5版	環境推進委員会による全面レビュー	H.17.11.14		許田
第6版	環境推進委員会による全面レビュー	H.18. 2.13		許田